

茅ヶ崎市立病院 看護部外来

看護師主査 金子 恵

助産師主査 大野貴子

当院の外来では12の診療科と、内視鏡、心臓カテーテル等の検査部門、そして人間ドッグの検査部門とが行われています。外来看護師職員は、常勤23名、非常勤30名で外来看護業務を担っており、休日夜間の救急には常勤看護師3名(うち1名は深夜12時まで)対応しています。

医療法改正や介護保険制度施行にともない在院日数の短縮が促進され、外来部門では外来治療や、患者指導、救急外来に看護師の役割が大きく、活躍が期待されています。

外来治療の主なものに化学療法があり、内科、外科、婦人科外来等で行われています。通院で治療を行う患者様は年々増加傾向であり、現在外科外来では1日4名から7名の方が治療を受けています。外科外来では、長時間の治療に対して、少しでもリラックスしていただけるようにクラシック音楽を流し、患者様が声をかけやすいようにコミュニケーションを大切にしたい雰囲気作りと、いつも同じ顔が見

られるような看護師を配置するように努力しています。患者様からは、BGMについては「気がまぎれる。」、入院せず外来での治療については「家に帰れて自由に外出でき、気分転換ができる。」「家にいた方が好きなものが自由に食べられる。」などの、好意的な声が聞かれております。

患者指導ではストーマ(人工肛門)外来を平成11年より開設しており、現在ストーマ外来に来られる患者数は年間55名で、平均年齢68歳、看護師は4名で指導に当たっています。近年、ストーマ造設の患者様が年々増加している状況の中で、在院日数の短縮もあり、ストーマのセルフケアに慣れないうちに退院になっているのが現状です。患者様ご自身やご家族の方々も不安を抱きながら自宅でのセルフケアになるため、手術後半年間は月に1回ストーマ外来に来院していただくようにして、不安の軽減に努力しています。ストーマ外来の看護師は、患者様が退院される前に病棟を訪問

して、外来に安心して通院できるよう、また、話しやすい雰囲気大切にしたいと考えています。ストーマ外来では、患者様のQOLを大切に、仕事をされている方、テニス、ゴルフ、旅行などにも積極的に参加されている方々を応援し、サポート出来るように努力しています。

婦人科外来では、更年期外来を毎週金曜日の午後に行っています。

最近やる気がおきない、疲れやすい、眠りが浅い、冷や汗が出る、良くないことばかりくよくよ考える、いらいらする、食欲がない、このような症状がひとつでもあれば、受診してみてください。更年期に対して症状をやわらげ、前向きに一緒に考えていく外来です。また、助産師による母乳外来も週2回（月、木）聞いており、母乳に対してアドバイスと育児についても相談に応じております。

内科外来では、糖尿病の方のインシュリン自己注射を始める方へ看護師がマンツーマンによる注射の指導をしております。そこでは注射の手技はもちろん、糖尿病についてのアドバイスも行っております。

今後私たち外来看護師はこれからも在宅で治療を行う方、育児で悩んでいる方々などのサポートをさせてい

ただきたいと思っておりますので、気軽に診察の後などでも声をかけてください。

今後、外来看護師の役割が重要となり、活躍する部門でもあります。私たち外来看護師は、患者様が、外来でも治療がスムーズに行われ、自宅に帰られても安全、安楽でいられるよう、地域に密着した病院を目指して頑張っていきたいと思っております。